

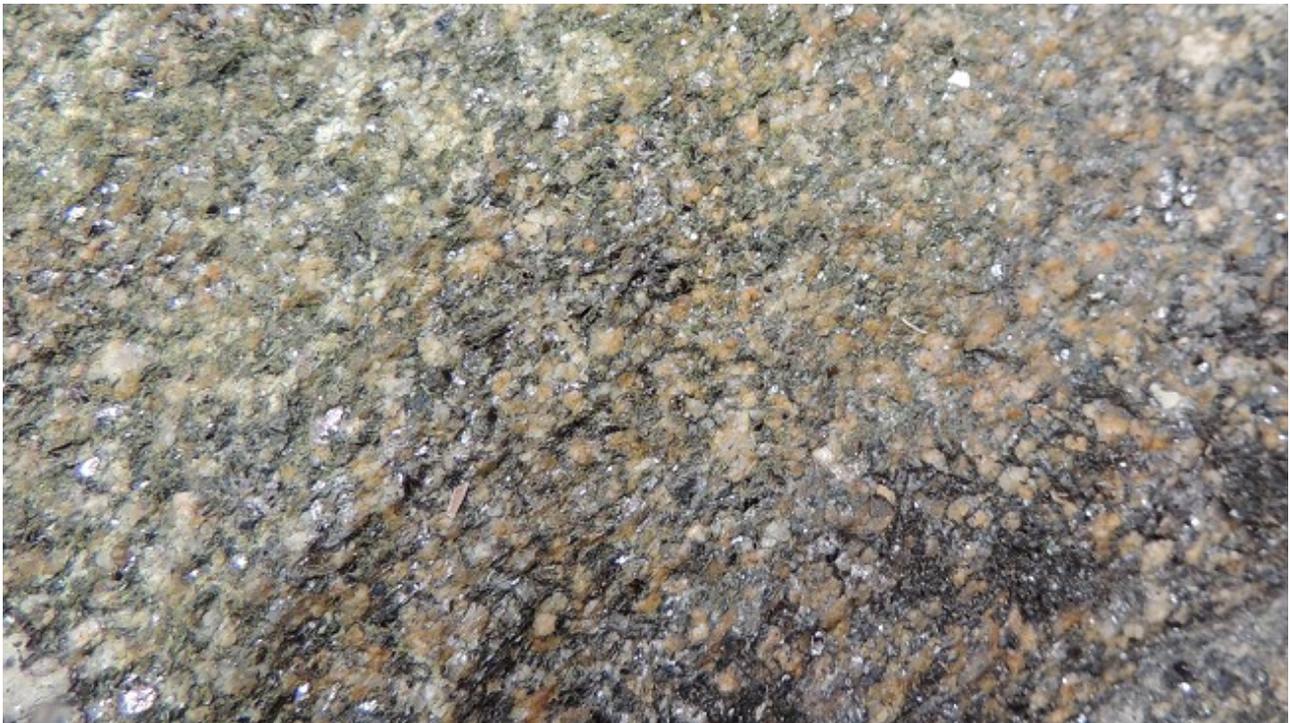
地学基礎の課題から その3

課題B②関連：校内の岩石から発展させました

校内の森、事務所前の石を観察。写真中央。見覚えありますか？……花崗岩です。



中学校でも学んだ花崗岩。等粒状組織。



長石類（高校では「斜長石」と「カリ長石」に分けます）がめだつ。
オレンジ色っぽいのが斜長石。黒っぽいのが黒雲母。
キラリと光るのがたくさん見られましたが、これも黒雲母。

図表70頁あたりの「地球内部の熱」に載っているとおり、花崗岩は発熱量が多い岩石です。
内部の放射性同位元素が核分裂する際に発熱し、放射線を出します。
なので、測定しました。



地学準備室 0.087 μSv/h
(マイクロシーベルト毎時)



校内の森にあるこの土台石は
花崗岩なので0.160と大きい。

※ 数字が「大きい」と言いましたが、小さいことには変わりなく、
まったく問題ありませんから、誤解のないようにお願いします。
世界にはこの20倍の値を示す地域もありますが、皆さん普通に昔から生活しています。



事務所前の石
0.197



グラウンド
0.074



野球部の黒い土のここ
0.047



新館体育館間の
非常階段踊り場
0.057

花崗岩が大きくなるのはわかりますが、他の値はいろんな条件が絡んでいると思います。
この測定器に関心があれば学校再開後、地学へどうぞ。課題研究に利用した生徒もいました。



ぶらついている途中、
校庭の南端で雨水が流れた跡を見つけました。
蛇行しており、外側が削られて崖をつくり、
内側は堆積が進んで河原ができる、という
のを昔習ったと思いますが、まさにその縮図。

いろいろ見つけた校内ウオークでした。
他にもいろいろあっておもしろかった。
皆さんも家のまわりで見つけてね。